

第18回データ流通促進WG  
～国境を越えるデータ流通の促進～

# APEC越境プライバシールールおよび ヘルスケアデータ流通の取り組み

2017年12月7日  
インタセクト・コミュニケーションズ株式会社  
リスク管理室 室長 兼 経営企画担当部長  
甘利 友朗



インタセクト・コミュニケーションズ株式会社

代表取締役社長 譚 玉峰

- ・ システム開発、電子署名、電子認証、BPM
- ・ Web広告支援、Webパトロール
- ・ WeChat決済代行、インバウンド事業
- ・ ヘルスケアIoT研究



お客様により価値のあるサービスを  
目指して日々前進あるのみ

## APEC越境プライバシールール 「CBPRs (The Cross Border Privacy Rules System)」とは

### <概要>

「適切な情報プライバシー保護策の策定を奨励し、アジア太平洋地域での情報の自由な移動を保証する際の重要な手段」を具体化するために開始された仕組み。

### <国内対象事業者>

JIPDEC認定個人情報保護団体の対象事業者（プライバシーマーク取得事業者、その他）

### <APEC参加国の状況>

アメリカ、メキシコ、日本、カナダが参加。その他参加国も推進中。

### <認証取得状況>

アメリカ：21事業者（Apple、Cisco Systems、HP、IBM、等）

日本：1事業者（当社）

## 企業のメリットは？

- ⇒ その1 **日本から外国 (APEC域内に限らない) への個人データの移転がスムーズに！**
  - 改正個人情報保護法においては、外国への個人データの移転が認められる例として、  
出し手 (注) または受け手によるCBPRシステムの認証の取得を、ガイドラインの中で明記。
- ⇒ その2 **APEC域内から日本への個人データの移転がスムーズに！**
- ⇒ その3 **国内外の消費者へのアピールポイントに！**  
**取引先としてのブランドカUP！**



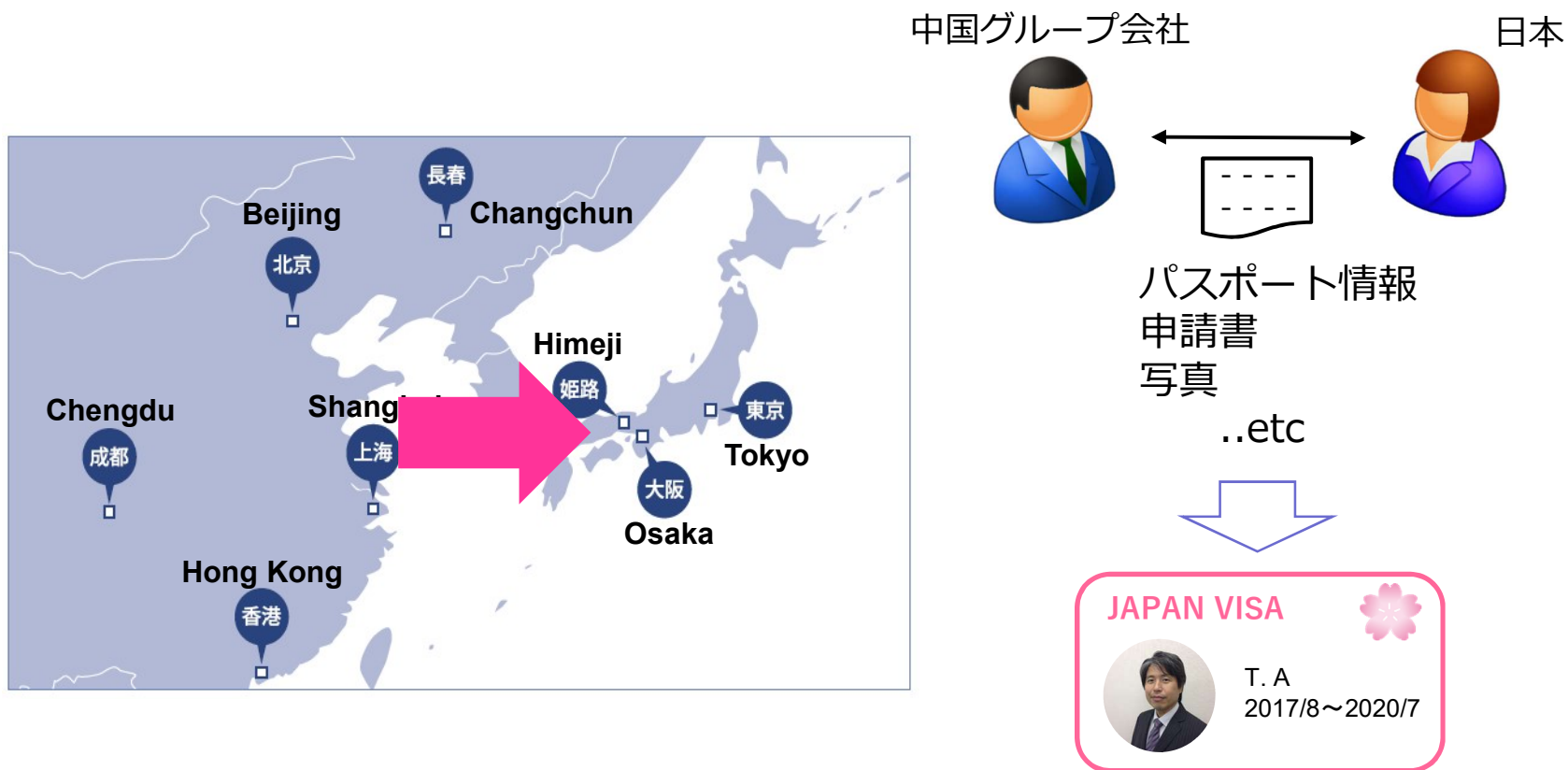
(注) APEC CBPRシステムの認証を取得している事業者は、その取得要件として、当該事業者によって第三者に個人情報を取り扱わせる場合においても、当該事業者が本人に対して負う義務が同様に履行されることを確保する措置を当該第三者との間で整備している必要があることとされている。

# 当社の取り組み①

## インバウンド事業 クライアントのSNS運用代行やキャンペーン



## グループ社員のビザ取得のために個人情報を取得



## 当社（プライバシーマーク取得企業）にとっての、CBPRs取得ポイント

- 質問書作成  
50の質問について回答
- 英語文書作成  
方針、覚書、利用目的通知、訂正、停止、委任状、などに関する文書
- リスク管理一覧表作成（業務ごと）  
システム面での、目指す水準、脅威または脆弱性、対策、検出機能、  
検出機能の作動を確認する方法、に関する一覧表



## Healthcare IoT Consortium



## ヘルスケアIoTコンソーシアム

会長 : 東京大学 大学院教育学研究科 教授 山本 義春

設立 : 2016年9月

会員数 : 89団体 (2017/11)

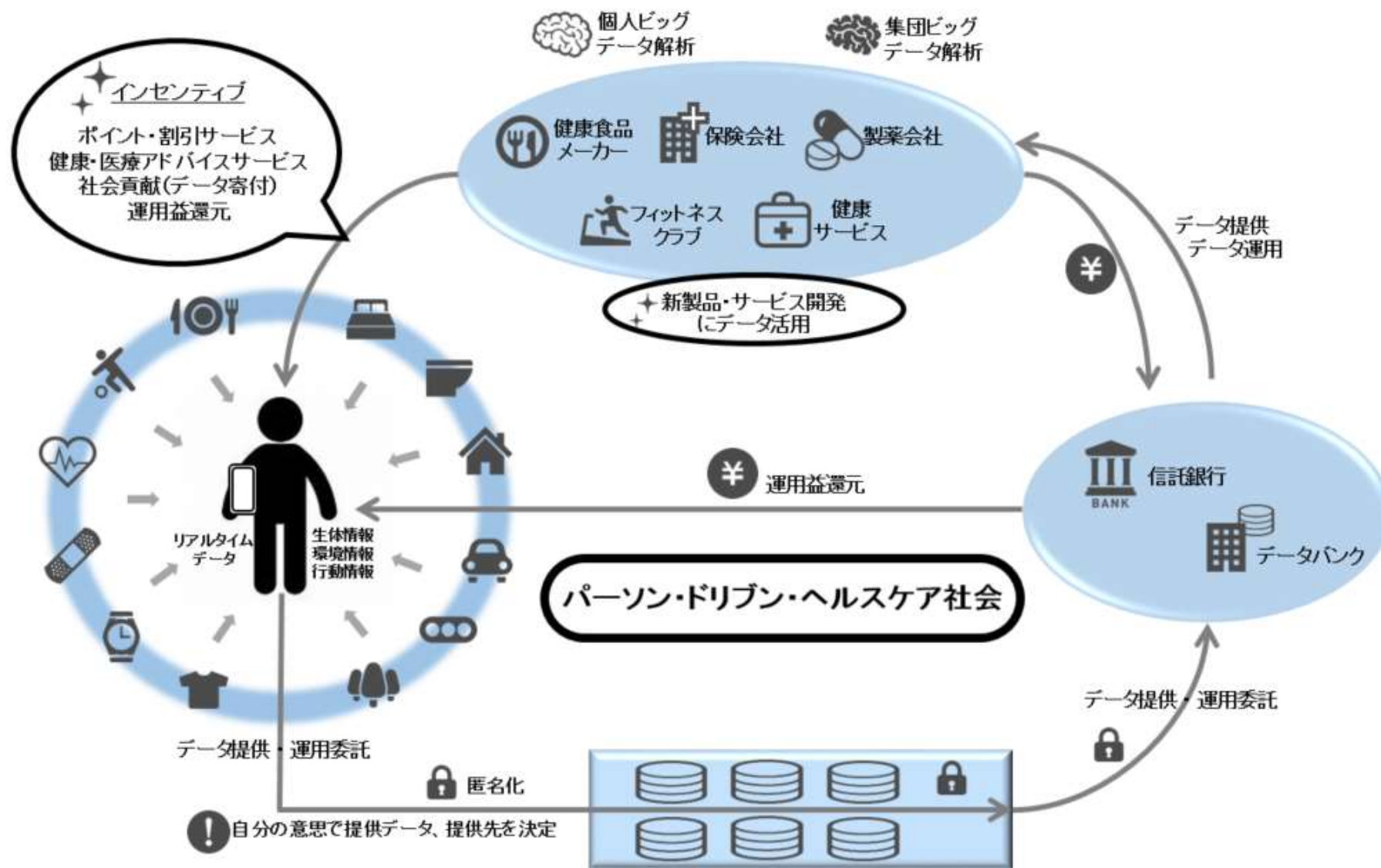
部会 : ビジネスモデル部会、法制度・標準化部会、  
ヒューマンインターフェイス部会、IoTプラットフォーム部会

<https://healthcareiotcons.com/>

会長	東京大学 大学院教育学研究科 教授	山本 義春
理事	株式会社ニューチャーネットワークス 代表取締役	高橋 透
理事	インタセクト・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長	譚 玉峰
理事	東京大学 大学院医学系研究科 准教授 東京大学医学部附属病院 心療内科 科長	吉内 一浩
理事	TMI総合法律事務所 パートナー弁護士 東京大学 大学院法学政治学研究科 教授	淵邊 善彦
監事	SKJ総合税理士事務所 所長・税理士	袖山 喜久造
専門委員	北海道大学 大学院情報科学研究科 教授	長谷山 美紀
専門委員	大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授	野村 泰伸
専門委員	広島市立大学 大学院情報科学研究科 教授	田中 宏和
専門委員	株式会社NTTデータ経営研究所 研究理事 情報未来研究センター長	萩原 一平
専門委員	一般財団法人日本情報経済社会推進協会 常務理事	坂下 哲也
専門委員	一般社団法人 電子情報技術産業協会 IoTタスクフォース ヘルスケアWG主査	林 喜宏



# (参考) 実現する社会イメージ



# (参考) 実証実験 ～企画立案や課題洗い出し～

**<ホーム>日記データ**

データの取得や表示

- 歩数、距離、消費カロリー
- 食事写真
- 熟睡感、食欲、ストレス
- 体重
- メモ

**<グループ>**

データ提供先とチャット機能

- 誰にデータを提供するか決定(フォローする)
- チャットで質問やアドバイス

\*グループの作成と管理者の登録はインタセクト社まで個別にご連絡ください

**<状況判定>統計分析**

データソースの選択とグラフ表示

- Fitbit、Healthcare、AUTOを選択
- 活動や気分値の表示
- グラフをスライドして表示期間変更

データソースの「AUTO」とは？

FitbitとHealthcareのデータを比較し、値の大きいほうをグラフデータに採用。例えば、Fitbitを忘れた日はHealthcareのほうのデータを使用するということが可能となる。

また、iPhoneしか持っていない人がFitbitを購入したので、データを連携してグラフ表示することも可能。複数デバイスのデータを1つにできる。

\*1日のデータで最大値のものを採用

**<同期設定>**

クラウドにアップするデータ項目を選択

フォローしている人か、おぼせらは公開となる

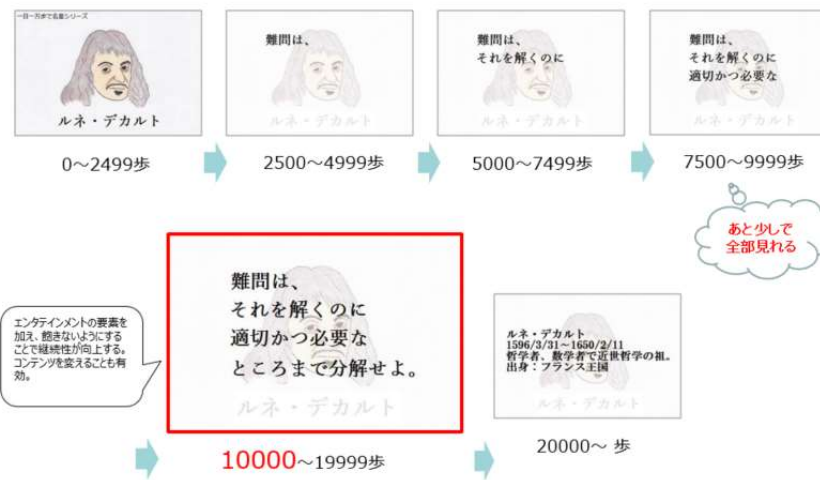
- カロリー、心拍数、睡眠、歩数、距離
- 日記データ
- プロフィール情報
- 健康診断情報

**<私の状態>プロフィール**

プロフィールや健康診断情報を入力

- 試験期間では実名を入れない
- 健康診断は身体計測と血液検査のみ

## <目標達成まで歩くための工夫 ～行動変容～>



### 医者側PC

**活動量**  
日々の運動や活動を  
確認することができる

**食事**  
食生活の良し悪しを  
確認することができる

### 医者側PC

**健康診断結果**  
生活習慣病に  
関係の深い数値を確認できる

**アドバイス**  
運動、食事、健診データから総合的な判断とアドバイスをすることができる

## 活動 1 : ビジネスモデル部会

- 個人の行動変容のための効果的なプログラム企画と個人健康情報ニーズの調査
- ビッグデータ解析の主なインプットイメージ、ユーザインターフェースの要件明確化
- 個人健康データ流通のための産業横断連携システムの企画構想

## 活動 2 : ヒューマンインターフェイス部会

- ソーシャルデザインに基づく、センサデバイスの基本要件と測定データレベルによる性能評価基準策定
- プラットフォーム構築・普及促進のための実証実験等による共同検証

## 活動 3 : IoTプラットフォーム部会

- 事業・サービス要件を満たすためのIoTプラットフォームの範囲、基本構造の検討と基準策定
- 流通データの形式、内容、構造等の要件定義と標準化、利用企業増加の普及活動
- 情報セキュリティの要件定義、ヘルスケア情報の真正性・信頼性のスキーム検討

## 活動 4 : 法制度・標準化部会

- エコシステム実現のための各産業・企業の連携のルール、法的側面、知財面の課題抽出・推進
- 仮想センサ・次世代BAN(人体領域無線通信)等上記各技術の共通化・(国際)標準化推進